

多文化共生フィールドワーク(第2回)
座学編&現地視察編

地域コミュニティと 多文化共生

Multicultural fieldwork
について考える

海老名
モスク
訪問



誰もが互いに尊重し合いながら暮らすことができる社会を実現するためには、一人ひとりが地域住民として、互いの多様な文化的・社会的背景の違いを理解することが大切です。この「多文化共生社会」を実現するため、地域における課題や市民団体の活動への認識を深めていただくことができるフィールドワークを行います！

座学編

日時 2022年1月8日(土) 14:00~15:30

形式 オンライン(ZOOMを利用)
定員 50名
対象 神奈川県内に在住・在勤・在学の方
参加費 無料
講演の内容 在日ムスリム・コミュニティと多文化共生の現状と将来
講師 店田 廣文氏(早稲田大学名誉教授)
申込期限 2022年1月6日(木)



現地視察編

日時 2022年1月16日(日) 14:00~15:00

会場 海老名モスク(海老名市上郷3-12-1)
定員 30名
対象 神奈川県内に在住・在勤・在学の方
参加費 無料
講師(案内役) 飯島 身佳氏(Ayase Muslim Women's Organization)
申込期限 2022年1月6日(木)



※現地視察編は、1月8日の座学編を受講された方のみご参加いただけます。

海老名モスクについて

国道246号が走る海老名市上郷の、相模川に面した土地に2000年に開設された。日々催される5回の礼拝のため、近隣の座間市、綾瀬市などのムスリム1200名が利用する。海老名市では外国籍住民へのワクチン接種を日本語のみで受付としているため、その円滑な接種を図るため、本年7月より海老名モスク代表者と話し合い、本モスクにおいて新型コロナウイルスのワクチンの集団接種を始めた。



座学編 講師プロフィール

店田 廣文(たなだ ひろふみ)

1949年北九州市門司区生まれ。東京外国語大学外国語学部アラビア語学科卒業。早稲田大学文学研究科社会学専攻博士課程単位取得満期退学。博士(人間科学)。

専攻：社会学・アジア社会論・エジプト地域研究。早稲田大学人間科学学術院教授を経て、現在、早稲田大学名誉教授。多民族多世代社会研究所、主宰。主要著書：『エジプトの都市社会』(早稲田大学出版部 1999)、『アジアの少子高齢化と社会・経済発展』(編著、早稲田大学出版部 2005)、『日本のモスク：滞日ムスリムの社会的活動』(山川出版社、2015)など。

座学編 & 現地視察編の申込方法

FAXまたはメールにて、タイトルを「多文化共生フィールドワーク」として、「座学編のみ」、「座学編 & 現地視察編」のどちらかを明記の上、①氏名(ふりがな)、②電話番号、③メールアドレス、④お住まいの自治体(市区町村のみ)、⑤ご所属(任意)を明記の上、お申込みください。

こちらからも
お申込できます。



お申し込み先

【メール】tabunkares@kifjp.org 【FAX】045-620-0025

多文化共生フィールドワーク申込み

希望のセミナー	座学編のみ / 座学編・現地視察編の両方
氏名(ふりがな)	
電話番号	
メールアドレス	
お住まいの自治体 (市区町村名のみ)	
ご所属(任意)	

現地視察編の集合場所 (海老名モスク)

